



## 2023年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2023年11月9日

上場会社名 WASHハウス株式会社

上場取引所

東・福

コード番号 6537

URL <http://www.wash-house.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 児玉 康孝

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部  
経理部長

(氏名) 永澤 秋二

(TEL) (0985)78-4001

四半期報告書提出予定日 2023年11月10日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 2023年12月期第3四半期の連結業績(2023年1月1日~2023年9月30日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(％表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第3四半期	1,390	△1.6	△27	—	△14	—	△14	—
2022年12月期第3四半期	1,412	△8.5	△72	—	24	—	0	—

(注) 包括利益 2023年12月期第3四半期 △0百万円(—%) 2022年12月期第3四半期 23百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第3四半期	△2.10	—
2022年12月期第3四半期	0.11	0.11

(注) 2023年12月期第3四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年12月期第3四半期	4,022	1,788	42.4
2022年12月期	4,282	1,788	40.0

(参考) 自己資本 2023年12月期第3四半期 1,706百万円 2022年12月期 1,711百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2023年12月期	—	0.00	—	—	—
2023年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日~2023年12月31日)

(％表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	1,974	2.8	3	—	15	△75.5	8	△31.4

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社(社名) — 、除外 一社(社名) —

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期3Q	6,923,400株	2022年12月期	6,917,400株
② 期末自己株式数	2023年12月期3Q	33株	2022年12月期	33株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期3Q	6,918,567株	2022年12月期3Q	6,911,207株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(四半期連結貸借対照表関係)	8
(セグメント情報等)	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症対策の緩和に伴い、景気に持ち直しの動きが見受けられております。一方、エネルギー資源の価格高騰や世界的な金融引き締めに伴う景気の下振れリスクなど、依然として国内外の経済動向は不透明な状況が続いております。

このような状況の下、当社グループは、当社セルフランドリーの洗剤製造を行う宮崎工場の本格稼働や、必ず待ち時間が発生するというセルフランドリーの特徴を活かし、WASHハウスアプリ広告システムによる反応率の高い広告枠を提供するスポンサー広告事業の推進など「プラットフォームとしてのセルフランドリー事業」の強化を着実に進めております。また、日本国内の店舗展開として、フランチャイズ（以下、「FC」という）オーナー様や新規出店用地の開発に取り組んでおります。

当第3四半期連結累計期間のFC店舗の新規出店数は1店舗となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,390百万円（前年同四半期比1.6%減）となり、営業損失は27百万円（前年同四半期は72百万円の営業損失）、経常損失は14百万円（前年同四半期は24百万円の経常利益）、親会社株主に帰属する四半期純損失は14百万円（前年同四半期は0百万円の親会社株主に帰属する四半期純利益）となりました。

当社グループはセルフランドリー事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメントの情報を省略しております。なお、当第3四半期連結会計期間から、従来の「コインランドリー事業」を「セルフランドリー事業」に名称変更しております。当該変更は報告セグメントの名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。また、前第3四半期連結累計期間との比較・分析は、変更後の名称により行っております。

セルフランドリー事業における主要な部門別の業績は次のとおりであります。

#### ① FC部門

当第3四半期連結累計期間におけるFC店舗数の推移は以下のとおりであります。

新規出店数が1店舗及びリニューアル12店舗を行ったことにより、売上高は122百万円（前年同四半期比42.7%減）となりました。

（単位：店舗）

エリア	2022年12月31日 現在のFC店舗数	期中増減	2023年9月30日 現在のFC店舗数
関東エリア	26	△1	25
中部エリア	11	△1	10
関西エリア	25	(注) △1	24
中国エリア	62	△1	61
四国エリア	25	△1	24
九州エリア	404	(注) △12	392
合計	553	△17	536

(注) 当第3四半期連結累計期間において、関西エリアでは1店舗を新規出店しましたが、既存FC店舗のうち1店舗を直営店とし、既存FC店舗のうち1店舗はオーナー様事情により退店となったため、期中増減は1店舗の減少となっております。九州エリアでは、既存FC店舗のうち2店舗を直営店とし、10店舗はオーナー様事情により退店となったため、期中増減は12店舗の減少となっております。

#### ② 店舗運営部門

当社はFC店舗、直営店舗に関わらず、すべての店舗を管理運営しております（全店舗一括管理運営方式）。

FC店舗につきまして、セルフランドリー店舗の管理を受託することによる受託管理料はストック収入を構成する要素となっております。この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は1,268百万円（前年同四半期比5.8%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### 資産、負債及び純資産の状況

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ260百万円減少の4,022百万円となりました。これは主に、流動資産の棚卸資産が22百万円増加した一方で、流動資産の現金及び預金が200百万円、営業貸付金が75百万円、固定資産のその他有形固定資産が29百万円減少したこと等によるものであります。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べ260百万円減少の2,233百万円となりました。これは主に、流動負債の短期借入金が50百万円増加した一方で、流動負債の預り金が162百万円、固定負債の長期借入金が60百万円、その他流動負債が48百万円減少したこと等によるものであります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ0百万円減少の1,788百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失14百万円を計上したこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年2月9日に公表いたしました2023年12月期通期連結業績予想を修正しております。

詳細は、2023年11月9日公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

### (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,097	896
売掛金	124	114
営業貸付金	969	893
棚卸資産	121	144
その他	189	197
貸倒引当金	△14	△11
流動資産合計	2,488	2,235
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	586	581
土地	236	238
その他（純額）	429	400
有形固定資産合計	1,251	1,219
無形固定資産	132	141
投資その他の資産	409	425
固定資産合計	1,794	1,787
資産合計	4,282	4,022
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	54	44
短期借入金	450	500
1年内返済予定の長期借入金	80	80
未払法人税等	24	19
預り金	406	244
賞与引当金	4	18
その他	226	177
流動負債合計	1,245	1,084
固定負債		
長期借入金	335	274
預り保証金	798	776
退職給付に係る負債	18	20
資産除去債務	38	40
その他	57	37
固定負債合計	1,248	1,149
負債合計	2,494	2,233

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	996	996
資本剰余金	926	926
利益剰余金	△234	△248
自己株式	△0	△0
株主資本合計	1,688	1,673
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	0	0
為替換算調整勘定	23	32
その他の包括利益累計額合計	23	32
非支配株主持分	76	82
純資産合計	1,788	1,788
負債純資産合計	4,282	4,022

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2023年1月1日 至2023年9月30日)
売上高	1,412	1,390
売上原価	925	880
売上総利益	487	510
販売費及び一般管理費	560	538
営業損失(△)	△72	△27
営業外収益		
受取利息及び配当金	0	0
預り保証金精算益	12	11
固定資産売却益	34	—
固定資産受贈益	21	—
助成金収入	28	4
その他	5	5
営業外収益合計	104	22
営業外費用		
支払利息	6	7
その他	1	1
営業外費用合計	7	8
経常利益又は経常損失(△)	24	△14
特別損失		
退職給付費用	16	—
特別損失合計	16	—
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	7	△14
法人税、住民税及び事業税	6	6
法人税等調整額	0	△5
法人税等合計	7	0
四半期純利益又は四半期純損失(△)	0	△15
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△0	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	0	△14

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	0	△15
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△0	0
為替換算調整勘定	23	14
その他の包括利益合計	23	14
四半期包括利益	23	△0
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	14	△5
非支配株主に係る四半期包括利益	8	4

### (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

#### ※ 当座貸越

当社においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行4行と当座貸越契約を締結しております。これらの契約に基づく借入未実行残高等は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
当座貸越限度額	650百万円	650百万円
借入実行残高	450百万円	500百万円
差引額	200百万円	150百万円

(セグメント情報等)

#### 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間（自 2022年1月1日 至 2022年9月30日）

当社グループはセルフランドリー事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間（自 2023年1月1日 至 2023年9月30日）

当社グループはセルフランドリー事業を主要な事業としており、他の事業セグメントの重要性が乏しいため、セグメント情報の記載を省略しております。

(報告セグメントの名称変更)

当第3四半期連結会計期間から、従来の「コインランドリー事業」を「セルフランドリー事業」に名称変更しております。当該変更は報告セグメントの名称変更のみであり、セグメント情報に与える影響はありません。また、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の名称で記載しております。